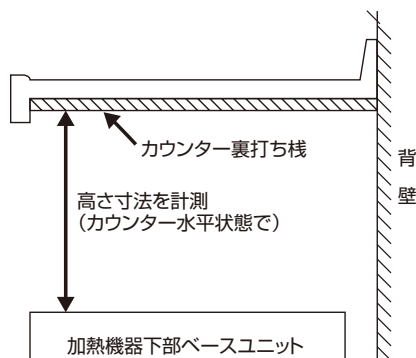


③天板補強用部材

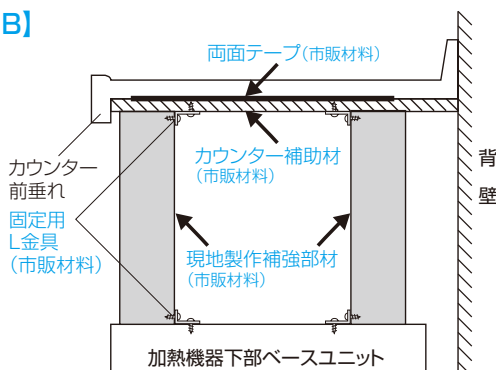
カウンター下の後付けや、フロントオープンからの買替えて、カウンタートップ(天板)を補強する必要がある場合は、市販の部材を使用するか、以下の別売部材を手配のうえ施工してください。

市販の部材で対応する

【図A】



【図B】

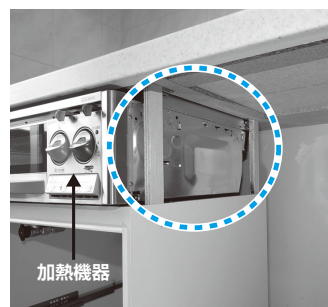


- (1) 加熱機器下部のベースユニット天面から、キッチンカウンター裏面の支持部分までの高さ寸法を計測します。カウンターにたわみがあれば補正し、水平の状態ですべて正確に計測してください。……………【図A】
- (2) 市販材料（ラワン等）を加工して、支持用補強部材を2個作成します。（幅は40mm以上、厚みは約15mmを目安。）
- (3) 作成した部材の両端にL金具を取り付け、カウンター前垂れの裏側と背壁側の2か所で、ネジで固定してください。……………【図B】

- カウンター裏面に裏打ち材がない場合、【図B】のように、厚さ10mm程度のカウンター補助材を用意し、(2)の補助部材と固定します。補助材の厚さを含めて(1)で計測した高さ寸法になるようにします。

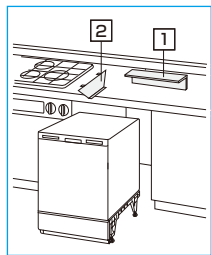
補助材の裏面に両面テープを貼り、カウンター裏面に取り付け固定してください。

- 加熱機器の下部がオープンの場合、木製の市販材料では対応できません。専用部材（不燃材）を使用して補強してください。



専用の別売部材で対応する

〈パナソニック(株) エレクトリックワークス社扱い〉

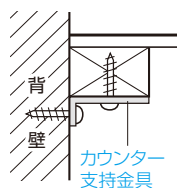


〈専用部材の取付位置〉

1 背面側の壁面でキッチンカウンターを支えて補強する

〈カウンター支持金具〉
JUG02NL3P
希望小売価格1,320円
(工事費別/税抜1,200円)

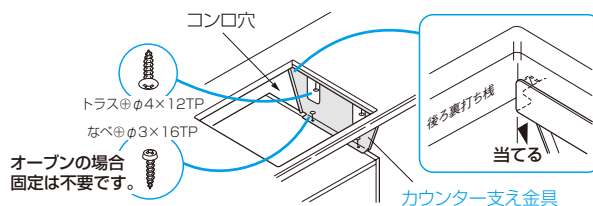
- 壁面の材質によっては同梱のタッピンネジが使用できない場合もあります。
- カウンター支持金具は長辺(穴4個)をカウンター側に取り付けてください。



〈カウンター奥行は650mm以上必要です。〉

2 加熱機器側のベースユニットを使ってカウンターを支えて補強する

〈カウンター支持金具〉
JUGSZFKA
希望小売価格5,170円
(工事費別/税抜4,700円)



コンロ下の高さに合わせて、スペーサー板をカウンター支え金具の下側に貼り付け、カウンター裏材と加熱機器下ユニットに固定する。